

承認番号：NDU-T2021-63

研究課題名：顎矯正手術後の顎間固定による顎骨ならびに歯の位置変化に関する検討

主任研究者（所属・職位・氏名）：矯正歯科・非常勤歯科医師・柴垣諒子

分担研究者（所属・職位・氏名）：矯正歯科・准教授・小林さくら子

矯正歯科・准教授・宮下渉

矯正歯科・助教・光岡一行

矯正歯科・レジデント・蔵田麻莉沙

1. 研究概要

1) 研究の意義：

顎変形症患者に対しては顎矯正手術を行ったのち、顎間固定にて顎骨および咬合の安定を図る。顎間ゴムを用いた顎間固定中は、手術後の顎骨の後戻りならびに顎間ゴムによる歯の移動が相互に生じており、術後の安定性に大きな影響を与えていると考えられる。そこで本病院における顎変形症患者に対する治療の安定性を検討し、今後の治療計画および治療方法に役立てる。

2) 研究の目的：

顎変形症患者の顎矯正手術後の顎間固定中における顎骨および歯の位置変化と安定性を検討することを目的とする。

2. 研究方法

1) 研究対象者：

2012年4月1日～2022年3月31日に当院で顎矯正手術を受けられた方

2) 研究期間：

2022年4月1日から2027年3月31日まで

3) 方法：

研究対象者の顎矯正手術前後の検査資料を用いて計測を行う。一般的なセファロ分析の値をもとに、顎間固定中の顎骨および歯の位置変化を検討する。セファロ分析に関しては、各研究対象者の顎矯正手術前後に用いた既存の計測値に加えて、顎骨および歯の前後・垂直的な位置変化に関する計測値を追加する。

4) 使用する試料・情報の項目：

顎矯正手術前後の経時的検査資料（初診時、顎矯正手術直前ならびに顎矯正手術直後に撮影された側面頭部エックス線規格写真）、研究対象者の年齢

5)情報の管理方法と保護：

本課題はヘルシンキ宣言に基づく倫理的原則および倫理研究に関する「人を対象とする医学系研究倫理指針（平成26年施行 平成29年一部改正）」を遵守して実施する。患者さんの個人情報の取り扱いには十分に注意し、関連する法規制等を遵守して、漏洩、紛失または不用意な開示などが為されないように個人に関する情報を匿名化する。

3. 研究に関する本学の問い合わせ・連絡先

研究責任者

氏名：柴垣 諒子

連絡先：日本歯科大学附属病院矯正歯科

〒102-8158 東京都千代田区富士見 2-3-16

Tel : 03-3261-5511、Fax : 03-3261-3924